



# 思考力・判断力・表現力を育てる！

都立八王子特別支援学校 平成28年度研究テーマ

## 「一人一人のことばの力を高める授業づくり」

～教科指導を通して育てる思考力・判断力・表現力～

### グループ研究について

◆ 希望する教科・領域ごとに22の小グループを作り、研究を行う。

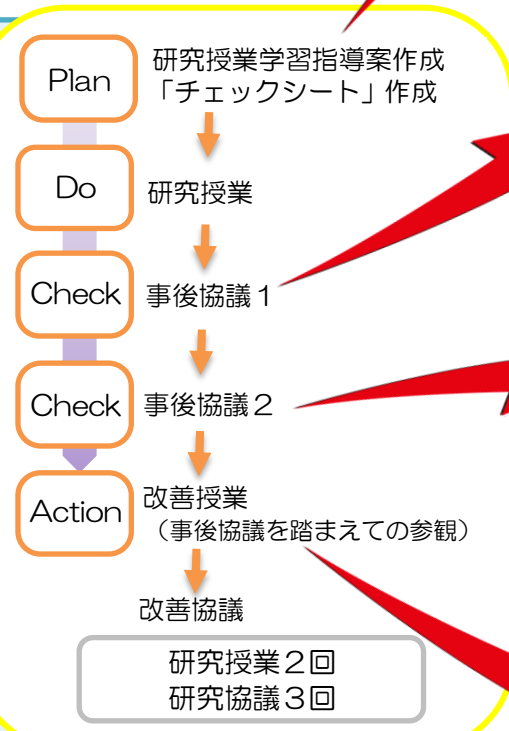
#### 教科・領域によるグループ編成

国語（8グループ） 算数・数学（2グループ） 理科 社会 英語 情報  
音楽 図工・美術 体育 職業 家庭社会性の学習（2グループ） 作業学習

- ※ 教員の希望によりグループ編成をした。（4名以下のグループは編成しない。）
- ※ 高等部作業班チーフは作業学習グループ所属とする。高等部職業の主担当は、職業グループ所属とする。
- ※ 小中学部についても、国語と算数（数学）を分けて編成する。
- ※ 生活単元学習 総合的な学習の時間については、今年度は実施しない。

### グループ研究のスケジュール

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究課題の提示</li> <li>グルーピングの決定</li> <li>グループ研究推進委員の決定</li> </ul>
5～6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業の授業者、研究授業の日程の決定</li> <li>第Ⅰ期の研究授業&amp;研究協議会</li> </ul>
7～8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ研究に関わる全校研修会（脳機能・神経心理学、アクティブラーニング、等）</li> <li>グループ研究の中間発表</li> </ul>
9～10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第Ⅱ期の研究授業&amp;研究協議会</li> </ul>
11～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究紀要の執筆</li> <li>公開研究会の発表準備</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開研究会（1月27日）</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ研究の実践報告会</li> </ul>



### 今年度の研究概要

今年度は、研究成果として導き出された「分かる授業のための4つのベース」を校内のスタンダードとして押さえながら、各教科授業において、児童・生徒が思考・判断し、表現できる授業づくりを実践できるよう、教科ごとのグループに分かれた授業研究を通して、研究を進めています。

### グループ研究の研究授業&研究協議会

- ◇ グループ研究は、第Ⅰ期（5～6月）と第Ⅱ期（9月～10月）の2部構成
- ◇ 第Ⅰ期、第Ⅱ期、それぞれの研究授業は2回（研究授業、改善研究授業）
- ▷ 第Ⅰ期、第Ⅱ期、それぞれの研究協議会は3回（事後協議1、事後協議2、改善事後協議）

### グループ研究協議会の進め方

#### 研究授業に向けて

- ① 研究授業担当者は「①研究協議（1回目）」と「分かって動くための授業のチェック表」を作成する。
- ② 研究授業担当者が研究授業を行う。可能なグループメンバーは授業を参観する。

#### 事後協議1 ビデオによる観察とチェックリストへの記入

- ① 推進委員が事後協議会の進行を行う。
- ② 「①研究協議（1回目）」に沿って、自評を行う。
- ③ 研究授業のビデオを視聴しながら、「グループ研チェックシート」に基づき協議を行う。
- ④ 事後協議会后、データ入力者は「②研究協議（2回目）」に協議内容を記入する。

#### 事後協議2 チェックリストに沿った改善案の設定

- ① 推進委員が事後協議会の進行を行う。
- ② 「②研究協議（2回目）」に沿って、よりよい思考のできる実践となる改善のアイデアを検討する。
- ③ 事後協議2の最後に、授業に採用する改善のアイデアを授業者が選ぶ。
- ④ 事後協議会后、データ入力者は「③改善協議」に協議内容を記入する。

#### 改善協議 事後協議で立てた視点の検証

- ① 推進委員が事後協議会の進行を行う。
- ② 事後協議で挙げられた意見や改善のアイデアについて、改善授業のビデオを視聴した上で評価する。
- ③ 実践でわかった点などを協議する。
- ④ 事後協議会后、データ入力者は「③改善協議 本実践で分かったこと」の欄にまとめを記入する。

PDCA サイクルによる校内研究システムの確立